

8月 6日(木) 放送 **「テーマ 戦争と平和」****「おとうさんのちず」**ユリ・シュルヴィッツ/作 さくまゆみこ/訳
あすなろ書房 2009年 5月発行
1階子ども読書室開架図書 (請求記号 E93/シ1)

戦争で故郷を追われたぼくたちが、命からがらたどり着いたのは、夏は暑く、冬は寒い東の国。食料は乏しく、土をかためた床の上で眠る毎日に、ある時おとうさんが買ってきのはパンではなく地図だった。地図のおかげで、ぼくはひもじさも貧しさも忘れ、はるか遠くで魔法の時間を過ごしていた。人は苦しく辛い時にも、夢や希望を持つことにより、生きる力にかえているのかもしれない。この絵本は、作者が4歳の時大空襲にあったワルシャワを逃れ、中央アジアのトルキスタンで暮らした子どもの時代を語る自伝的絵本です。

「絵で読む広島原爆」那須正幹/著 西村繁男/絵
福音館書店 1995年 3月発行
1階子ども読書室開架図書 (請求記号 392)

戦時色が濃くなってきた昭和15年に始まり、原爆が投下された昭和20年8月6日、そして戦後の復興、現在の姿と時代をたどりながら、広島市の街地の様子が絵本の見開きいっぱい細かく描かれ、またその間に、原爆の原理、広島市の被害状況などについての基本的な知識も織り込まれています。

画家の西村繁男さんは昭和22年高知市生まれ。この絵本を描くにあたり、1年近く広島に住み、資料や証言者を訪ね歩いたという労作です。

絵も文も、原爆を客観的に捉え、事実をできるだけ正確に伝えようという姿勢が伝わってきます。小学校高学年から。

「縞模様のパジャマの少年」ジョン・ボイン/作 千葉茂樹/訳
岩波書店 2008年 9月発行
1階子ども読書室開架図書 (請求記号 93/ホ1)

ベルリンで快適な生活を送っていたブルーノは、お父さんの仕事の都合で見知らぬ場所へ引っ越すことになった。ある日、探検に出かけたブルーノは、高いフェンスの向こう側にいる縞模様のパジャマを着た少年シュムエルと出会う。フェンスごしの会話を続けること一年、二人の間には奇妙な友情が芽生えていった。

少年二人の立場の違いが、あどけない会話から際立っていき、衝撃のラストへと向かっていく物語です。中学生から。

8月27日(木) 放送 **「テーマ のんびり電車・鉄道の旅」****「土佐電鉄が走る街今昔」**土佐電鉄の電車とまちを愛する会／編
JTBパブリッシング 2006年 7月発行
2階郷土開架図書 (請求記号 K686/75)

現在、路面電車(チンチン電車)の走る街は全国で20か所程。その中で現役最古の歴史と軌道線最長の営業キロ数を誇るのがわれらが土佐電鉄です。高知県民にとっては当たり前存在として走り続けるその土佐電鉄電車の魅力に徹底的にこだわり、作られたのが本書なのです。

随所に古い写真が散りばめられ、各停留所や車両の紹介が載る一方、一定年齢以上の方々には懐かしい旧安芸線に関する特集が組まれていたりします。まさにこれ1冊で1世紀を超える土佐電鉄のあゆみと街の変遷が手に取るようにわかります。

総営業キロ程25.3km、停留所数75。あなたも本書を片手に、ただ乗ることを目的として土佐電鉄を味わってみませんか。

「土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線ゴトゴトマップ」ごめん・なはり線活性化協議会／編
ごめん・なはり線活性化協議会 2009年 7月発行
2階郷土開架図書 (請求記号 K290.9/432)

楽しい地図が出版されました。その名も「土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線ゴトゴトマップ」。ごめん・なはり線沿線及びその周辺にあたる南国市以東東洋町までの地図と合計15ヶ所の散策モデルコース、そして文化施設や自然体験施設、温泉、各種イベント等々の情報、お問い合わせ先がコンパクトに収められています。

各駅のキャラクターを確認しながら列車に揺られ、景色を楽しむのもよし。車やバスに乗り換えて県東部の隅々まで足を延ばすのもよし。はたまた徒歩や自転車で自然の風を感じながら歴史や文化に触れるのもよし。さあ、この地図をたよりに県東部の魅力を再確認してみましょう。

なお、この地図についてのお問い合わせは「ごめん・なはり線活性化協議会」電話0887-32-0322まで。